

「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」（以下、「推進員」）さん。現在、市内各小中学校に１～３人が配置されています。その推進員さんに聞きました。



西村　幸子さん

1．配置校はどこですか？

筑紫野中学校です。

2．推進員になったきっかけは？

ＰＴＡや学校支援ボランティアで以前から学校に関わっており、前校長先生からお誘いいただきました。

3．主にどんな活動（具体的に）をしていますか？

中学生の地域ボランティアの登録や集計。職業体験の施設や職業講話の講師の紹介や問い合わせ。地域協議会への参加などです。

4．活動してみてうれしかったことは？

区長さんや、地域の人々に、活動や推進員のことを知っていただき、声をかけていただくことが増えました。また、地域で中学生が活動・活躍することを、地域の人たちが受け入れてくださり、それを喜び、そして必要と思っていただけることです。

5．活動してみてわかったことは？

地域活動や地域行事への参加者や協力者が減少しており、あらためて運営の難しさがわかりました。

6．将来、やってみたい活動は？

やってみたい活動というより、推進員が必要とされないくらいに地域コミュニティが活発になることを願っています。

7．地域・学校の声

いつも明るく、学校のことをとても理解していただき、上手に地域と学校をつないでくださりありがとうございます。おかげで筑紫野中の生徒は、素直で明るく元気に育っています！

（筑紫野中学校校長　吉村　宏先生）



▲自転車点検ボランティアの皆さんと